

地元農業の未来につながる

仕事創出と人材育成

新子博之

(41歳)

— 五條市西吉野町 —



される理由のひとつだ。新子さんの柿農園でも、この三品種がのびのびと枝を伸ばす。

今のための人材確保と 未来のための人材育成

現在、妻と両親のほか、二人の研修生と共に日々の仕事に当たっている。5月頃、柿の枝いっぱい付いた蕾から、形や日当たりが良くないものを落とす摘蕾の作業が始まる。5ヘクタールの山肌畑に広がる柿の樹一本一本を回り、目で確認しながらの作業は体力も時間もかかるが、甘くて大きい柿を作るためには欠かせない。摘蕾と秋の収穫期には、一時的にパートも雇って総動員で作業に当た



らないといけないほど忙しい。

二人の研修生は、国の「農の雇用事業」により、二年の期限付きで新子さんの元で研修に励んでいる。彼ら

の力なしには日々の仕事は追いつかず、研修生とはいえとても助けられている。しかし、研修期間が終わった後も継続して雇用できるかどうかは、双方の意志によって決まるため、研修中の彼らは頼りになるが、将来を見据えた経営幹部候補として育成することは難しい。一方、今は頼りになる両親も、畑に出るのが難しくなる日が来るのはそう遠くなく、将来この農園の経営を担う、自分の右腕となる人材をいかに確保し、育成するかが急務となっている。

先の人材育成のことを考えると同時に、年々難しくなってきた繁忙期のパート人員をどう確保していくのかという懸念も頭に浮かぶ。一年のうち限られた繁忙期だけ、まとまった人数のパート人員を確保するのは容易ではないからだ。

今ある仕事を確実に動かすための人員



柿の一大産地、西吉野町

柿の生産が盛んな五條市の中でも、特に名産地として名高い西吉野町。標高100〜400メートルの山間部は年間平均気温が15度前後で、柿の生育には最適な環境だ。恵まれた自然条件も手伝って、現在、西吉野町内だけでも数百軒の柿農家が存在する。

代々この地で農業を営む家系の長男として生まれたのが、今回紹介する新子博之さんだ。昔はみかん畑だった農地を柿に切り替えたのが新子さんの祖父。その後、国営総合農地開発事業を利用して父

確保と、未来のための人材育成。この両方をどう実現していくかが目下の課題だと新子さんは言う。

将来を見据えて

「今」できること

そんな現状を打破しようと取り組んでいるのが、作業の効率化と仕事の拡充だ。老齢化した柿の木を若い木に植え替えて収穫量の増加を図ったり、井戸を掘ってタンクに水を貯めて自動で水やりができるシステムを導入したりと、収益性と作業効率の向上を目指している。

もうひとつの取組は、柿の仕事が減る時期に別の作物を作ることで、将来正規雇用の人員を増やせるだけの仕事と収入を生むこと。その先駆けとして10年ほど前に始めたのがブルーベリーで、最近ようやく安定的な収穫と加工品の生産もできるようになり、将来の雇用につなげられる見込みが出てきた。これからは、ほかの作物にも挑戦していくつもりだ。

将来の経営幹部育成を狙い、数年前から職業安定所に正規雇用の求人を出している。しかし、将来共に農園経営を担えるだけの強い意志を持った人材はなかなかやってこないのが実情。近年の農業ブームも手伝ってか、関東など遠方から

が柿畑を拡大した。当時、農地を拡充し、柿の生産拡大に踏み出した農家が多く、西吉野町が「柿の一大産地」と呼ばれる始まりとなる。子供の頃から畑を手伝い、長男は農業の仕事を継ぐものと考えていた新子さんは、高校卒業後に農業大学に通り、その後本格的に就農して農地を引き継いだ。

西吉野町で生産している主要品種は甘柿の富有、渋柿の平核無と刀根早生の三品種。甘柿と渋柿の両方を生産し、9月中旬から12月中旬の三ヶ月に渡って収穫できる地域は全国でも西吉野町だけというのも、この地が柿の産地として特別視

若者が応募してくることもあるが、流行りに乗じての軽い気持ちでは農業経営など到底できるはずがない。「会って話せば、その子がやっていけるかどうかはすぐわかります」と新子さん。農業の厳しさや現実を伝え、「受け入れない」という選択をするのも、自らの農園のことはもちろん、就農希望者の将来を思っていること。

畑での仕事以外に、20代から40代前半までの地元の農家が集うJAの青年部の活動にも積極的だ。マーケティングの勉強会や異業種との交流会の開催のほか、毎秋の「柿の里まつり」では五千人を超える来場者に向けた柿のPRに力を惜しまない。畑の外での努力が自分だけだけでなく、地域全体の活性化や人材育成の一端を担うと信じているからだ。

10年後、20年後、さらにはもつと先の未来を描いて今日何をするか。畑で働くことも、人材を育成することも、青年部の活動に力を

注ぐことも、すべては未来のため。未来は明ると信じて新子さんは今日も仕事に汗を流す。

